



世帯数	5,981戸
人口	14,403人
(平成29.9.1現在)	

第12回

寿きずなの森

フェスティバル

7月17日(月)海の日に、第12回寿きずなの森フェスティバルが開催されました。きずなの森フェスティバルは、松本市の森林資源の維持、森林資源を通しての地域の絆の活性化を目的とし、平成17年から開催されています。牛伏寺ダム下流河川敷からバスで移動し、鉢伏山中腹の標高1,140mの山の神で開催されています。

実行委員長の挨拶により9時45分からフェスティバルが始まり、山の神までは寿北六区の共有林、標高1,180mから鉢伏山の山頂までは寿財産区有林とのことでした。さらに近年、日本各地で集中豪雨が発生しており、治山、治水の重要性についてお話がありました。

開会式の後、森のステージで筑摩野中学校合唱部によるオープニングセレモニー(森

の合唱)が行われました。その後各種団体の発表が行われました。松本ケーナサークルの弦楽器・笛の演奏、竹御祭囃子保存会の太鼓演奏、寿ハーモニカメイト、寿小学校金管バンド、寿小学校4学年有志による合唱とソーラン節が行われました。暑さに負けない素晴らしい発表でした。イベントは盛り沢山で、のこぎり早切り競争、木工教室、バウムクーヘン作り、アスレチック、スタンプラリー、ホットドック作り、トレッキングが行われました。子供も大人も一緒になって楽しみました。

今年からののこぎり早切り競争のルールが変わり、昨年までのタイム勝負から、3人1組で3分間で切った長さ(直径)の合計を競う方式となりました。親子のチームではお父さんが頑張っていました。



竹瀝祭囃子保存会太鼓演奏



ケーナサークル



筑摩野中学校合唱部



寿ハーモニカメイト



寿小4年ソーラン節



寿小学校金管バンド



のこぎり早切り競争



アスレチック



バウムクーヘン作り



記録判定中

優勝チームの記録は78cm。凄いい記録が出ました。今年も寿日赤奉仕団の皆様より豚汁のサービスがありました。加者でおいしく頂きました。

最後に、本フェスティバルの運営に関わられた皆様、楽しい時間を過ごさせて頂き、ありがとうございます。 (館報委員 萩原 寛之)



百瀬町会 第4回寿地区防災訓練

9月3日(日)寿地区防災訓練が実施され、百瀬町会の訓練に参加してきました。

午前8時に地震発生の訓練開始放送の後、常会毎に集合し、一時避難場所の百瀬公民館に集合しました。

避難者数は591世帯、442名(男性242名、女性200名)でした。

避難終了後、神澤防災本部長より「災害が起きた場合、町会で出来ることには限りがある。安否確認表を活用してどこで誰がどんな状態にいるかを把握し、行政に連絡して、救助活動を進めていくことが重要。ご協力をお願いしたい。」との総括を頂きました。

また、非常食の試食と防災用品の展示も行われました。

その後、常会毎に分かれ、消防団による消化栓を使った放水訓練が行われました。

近年、日本各地で災害が多発しているため、今回のような訓練は重要であると感じました。 (館報委員 萩原 寛之)



放水訓練



一時避難場所集合

わがまちこの人

ニユースによる「狩猟シーズンの解禁」といった報道のほかに目にする事の少ない、狩猟の世界を少し紹介します。

今回は、竹淵町会にお住いで狩猟を趣味としているSさんにお話を伺いました。

取材の前提として名前は出さないでほしいということですが、猟友会にはブロックがあり、所属しているブロックが違うため、まずいとのこと。「大人の事情」というところでしょうか。

Sさんが、狩猟に興味を持ったのは中学生の頃です。父親に連れられて山を歩き回っていたようで、これといったきっかけがあつたわけではなく、自然に興味とすようになったそうです。

狩猟の醍醐味は、なんとと言っても迫力が違うとのこと。シカにせよイノシシにせよ、でかいそうです。

犬に獲物を探させて探し当てると吠えて知らせ、犬が追い出してくる獲物待ち伏せて撃つとのこと。獲物はその場で解体し、仲間で分け合つて家に持ち帰り、奥さんが料理してくれます。奥さんは、結構喜んで料理してくれるそうです。

近年、美ヶ原でのシカの増加による被害などが報道されていますが、害獣駆除として自治体からの要請で市内猟友会のブロックが協力して、シカを撃ちに行くことも年に数回あります。シカを追い出す班と、鉄砲を撃つ班に分かれ、追い出されたシカを撃ちます。

なんと、何百頭が自分の方に向かつて群れで疾走してくることもあるようで、それこそ撃てるものではないそうです。私は、映画「七人の侍」の戦闘シーンを想像しました。すごい迫力だと思います。

最近では、獲物が減つたそうです。シカも賢くなって北のほうへ行つたのか、駆除の効果なのか解らないとのこと。

最後に、このところ話題になっている「ジビエ」料理について聞いてみました。

お客様に出す料理にするためには、山で解体したものはなく法律の規定に従い、衛生管理されたそれなりの解体施設が必要のため、お金がかかるので普及は厳しいとのこと。また、Sさんからは狩猟は個人が趣味の範囲でやることであつて、金銭が絡むのは好ましくないというお考えを話していただきました。
(館報委員 上平 貴明)

馬場家住宅子連れコンサート



9月2日(土) 10時より、重要文化財馬場家住宅にて『馬場家住宅子連れコンサート』が開催されました。

今年で10回目の開催となる今回のコンサートには、お子さん連れの家族を中心に約150名の参加者が来場し、会場の座敷は立ち見が出るほどでした。

今年の演奏者は、バイオリンの近藤聡さんとチェロの嘉納雅彦さんのお二人で活動をされている「音喜楽ボーイズ(おきらくぼーいず)」さんに務めていただきました。

「G線上のアリア」等のクラシックから「アンパンマンのマーチ」などのアニメソング、また「水戸黄門のテーマ」など馴染みの曲もあり、来場者の方も一緒に口ずさんでいました。

特に演奏者二人の軽妙な掛け合いやトークに会場は和やかな雰囲気になっていました。

心が癒され、楽しい土曜日のひと時を過ごすことができました。
(館報委員 百瀬 肇)

町会夏祭り特集

下瀬黒町会・青山様・ほんぼん



8月1日・2日に夏の子ども祭り「青山様・ほんぼん」が行われました。

子ども達と保護者等総勢70名が地区内を練り歩きます。地区内の老人福祉施設の方々とも交流し、楽しい夏の思い出になりました。
(館報委員 藤田 三雄)

百瀬町会盆踊り



8月12日(土)午後5時より百瀬町会の盆踊りが正念寺境内にて行われました。

オープニングの竹淵祭り囃子保存会の太鼓演奏の後、盆踊りが始まりました。大勢の浴衣を着た子どもたちで賑わっていました。
(館報委員 萩原 寛之)

白川町会夏祭り



8月14日の午後6時より白川公民館にて、夏祭りが開催されました。

子ども連れの家族が大勢来場され、盛況に開催されました。
(館報委員 百瀬 肇)

寿田町会夏祭り



恒例の寿田町会の夏祭りが7月29日行われました。

心配された雨も片付けが終わるまで降られず沢山の住民の皆さんの参加を得て盛大に行われました。
(寿田町会 久保田 幸康)